

第1回岩見沢市子ども・子育て会議議事録

日時 平成25年11月11日(月) 18:00~20:06

場所 であえーる岩見沢3階 会議室1

- 1 開会 委嘱状交付
- 2 あいさつ 岩見沢市長 松野 哲
- 3 会議の目的について
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 議事
報告
(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定について
(2) いわみざわ次世代育成支援後期行動計画について
(3) 子ども・子育ての現状と課題
協議
(4) ニーズ調査について
- 6 その他
- 7 閉会

○出席者 <委員> 岩見沢市子ども・子育て会議委員12名
<事務局> 子育て推進担当次長、子ども課長、子育て支援係主任、子育て支援係

○配布資料 資料1 : いわみざわ次世代育成支援後期行動計画概要版
資料2-1 : いわみざわ次世代育成支援後期行動計画の検証
資料2-2 : 岩見沢市の現状と課題
資料3 : 次世代育成支援行動計画 ニーズ調査結果(抜粋)
資料4 : 内閣府 子ども・子育て新制度説明会 配布資料

| | |
|-----|----------------------------------|
| 事務局 | 1 開会(18:00) |
| 市長 | 2 市長挨拶 3 会議の目的について (事務局説明) |

| | |
|------|---|
| | <p>(委員自己紹介) (事務局自己紹介)</p> <p>4 会長及び副会長の選出</p> <p>(市長より諮問)</p> <p>5 議事</p> |
| 事務局 | <p>報告事項の(1)と(2)について説明</p> <p>質疑応答</p> |
| 委員 | なし |
| 事務局 | <p>報告事項の(3)について資料1～4に基づいて説明</p> <p>質疑応答</p> |
| 委員 J | <p>もう一度流れについて確認したいのですが、後期行動計画が平成26年度に終わるので、それ以降に向けてニーズ調査を行うということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>はい。そういうことでございます。</p> |
| 委員 J | <p>平成27年度の春からの計画について話し合い、平成26年度末までに課題をこの会議で話し合うということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>いえ、平成26年度までの課題をふまえて、平成27年度以降どういった計画が必要かということについて考えていただくということでございます。</p> |
| 委員 J | <p>ニーズ調査は、これからやるのでしょうか。後期行動計画のニーズ調査はもう終わっているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>後期行動計画のニーズ調査は終わってしまして、平成27年度以降の計画策定にむけて新たにニーズ調査を実施するものでございます。</p> |
| 委員 G | <p>子ども・子育て3法が平成27年度から実際に動き始めますが、今まで幼</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>稚園に関して市は関知しておりませんでした。平成27年度から各自治体が関知し始めるとは思います。子ども・子育て会議はそれに向けての話し合いでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>子ども・子育て会議はそれだけに向けてというよりは市の子ども・子育て支援事業全般について協議をし、計画を立てる、そしてその進行管理を行う、というために設置された会議でございます。</p> |
| 委員 G | <p>次世代育成支援行動計画の前期と後期についてと子ども・子育て支援事業計画がどのように関わってくるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>次世代育成支援行動計画が平成26年度までで、次の子ども・子育て支援事業計画はこの後の計画となります。次世代育成支援行動計画は少子化対策として子育て支援を中心に施策の方針を定めたものであるのに対し、今回の計画はチルドレンファースト、子どもが主役という考え方のもと、子どもと子育ての両方を支援するためにその具体的な事業の内容とその確保の方法、提供するサービスの量の見込みなど、より具体的な内容について言及した内容となっております。違う性質の計画とご理解いただければよろしいかと思います。</p> |
| 委員 J | <p>計画期間はどれくらいか。</p> |
| 事務局 | <p>平成27年度から平成31年度の5年間です。前は10年スパンで前期・後期とわかれていましたが、5年ごとに計画を見直していくということでございます。</p> |
| 委員 J | <p>平成27年度から平成31年度の5年間の計画を立てるための会議ということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>そういうことでございます。</p> |
| 委員 G | <p>前期の次世代育成支援行動計画では私も参加させていただいて様々な意見をだささせていただき、それに基づいて計画が策定されたと思います。これから後期の検証に入っていく際に、前期の様々な項目のデータを表していただいて、どの項目がまだ足りないのか表さない限り、きちんとした検証はできないのではないのでしょうか。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>例えば、前回、障がいをもっている子の対応の仕方について、学童保育でしっかり受け入れるということを目標に掲げていました。実際にどれくらい受け入れているか話を聞くと、かなり受け入れられていないという話を聞いています。それについてどのように考えていくのか、というようなことに基づいて検証していかなければならないと思いますが。</p> |
| 事務局 | <p>次世代育成支援後期行動計画の具体的な検証については平成26年度の1回目の会議の中で詳しい項目をご説明させていただこうと考えております。なぜなら、今はまだ計画の途中であり、この時点での検証はなかなか難しいと思いますので、最終年度で検証したものを皆さんにお示ししたいと考えております。平成26年度の早い時期に第1回目の会議を予定しております。ただ、その前に、この項目は現在どうなっているのかご質問いただいた場合には、ご質問に対する答えを次回の会議で用意いたしますので、そういった質問も今日、この会議で出していただければと思います。今、委員Cからお訊ねのありました障がいのある子どもの受け入れ状況については、次回の会議で具体的な資料を出させていただきたいと考えております。</p> |
| 委員 J | <p>私も前期のときに参加し、色んな方からたくさんのご意見をいただいていたのですがやはり全てを計画に盛り込めたわけではありませんでした。その時の委員の要望と答えみたいなものまとめはどこにも示されていないので、何かまとめた資料をいただけないでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>どの項目が反映され、どの項目が反映されていないかは、現在整理できておりませんので、早急には難しいため第2回の会議になるか第3回の会議になるかわかりませんがお示ししたいと思います。</p> |
| 委員 F | <p>前回の計画策定の際の議事録は公開されていますか。</p> |
| 事務局 | <p>公開されております。 簡単な議事録は要点表記ということでホームページに公開しているのですが詳しくは載っていないので、調べてみたいと思います。</p> |
| 委員 F | <p>この子ども・子育て会議で検討する内容は資料にのっている9項目以外にもあるということですね。</p> |
| 事務局 | <p>事務局では9項目に整理いたしましたが、こういう点も大事ではないかと</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>いうご意見がいただければ、それも含めて考えていきたいと思います。</p> |
| 委員 F | <p>例えば、目標達成できていない病児・病後児保育については課題にあげていただけるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>それについては課題③に記載してございます。</p> |
| 委員 J | <p>9項目の中に出ていないものとして5歳児健診があります。5歳児健診で障がい児を見つけることもできるので、前回の会議でも提案しています。また、⑦でいえば、様々な要支援家庭がありますが、子どもに対して支援するヘルパーについての法律が日本にはありません。ネグレクト予備軍はたくさんいるのに訪問看護に関する制度がありません。それに、岩見沢市では思春期の子どもの問題がかなり増えています。10歳から15歳位の間で不登校から始まってどんどん悪化していっているケースが増えていますが、これに対するサービスがほとんどありません。というようなことなどが抜けています。</p> |
| 委員 F | <p>私は他の市の会議にも参加していますが、岩見沢市の場合は待機児童の問題がありません。他の課題について意見を出し合えますので、色んな意見をシェアしたいと思います。</p> |
| 委員 A | <p>ショートステイやレスパイトケア事業はされていないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>実施はしておりません。</p> |
| 委員 J | <p>レスパイトケア事業は市立病院で実施しています。</p> |
| 事務局 | <p>現在取り組んでいない事業については、平成26年度、27年度も含めましてどう対応していくのかこの会議でご協議いただきご意見をいただければと思います。</p> |
| 委員 F | <p>色んなご意見があるかと思いますが、ニーズ調査にどんな項目を盛り込んでいくかということにも関わってきますので、まず、ニーズ調査について事務局から説明を聞いたうえで、またご意見を伺いたいと思います。</p> |
| | <p>協議</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>(4) ニーズ調査について</p> <p>国の方針としては今回の計画で教育・保育・子育て支援の利用状況と利用規模を把握し、量の見込みを設定することとしています。ニーズ調査の対象となるのは、大きく分けて未就学児の保護者と小学生の保護者ということになります。ニーズ調査については、国が基本的な事項を示したひな形を作っております。これを基に岩見沢市として把握したい事項、ただいまご意見をいただいた事項などを盛り込んでアレンジして作っていくということになります。今日お配りした資料にひな形がございます。質問事項については待機児童解消というのが国の大きな目標となっておりますので、保育サービスの量的把握、内容の検討に重きを置いたものになります。先ほど3分野9項目の課題事項についてご説明しましたが、これらについて解決につながるような設問を現在検討中でございます。委員の皆さまからいただいたご意見ご感想などをどのように反映できるのかということを検討したいと思います。この会議では、質問事項そのものをお考えいただくのではなく、課題の解決に参考となる項目を加えるという考え方のもと、市としてどのような課題があるか、どのような状況について知りたいか、こういう取組が必要だと思うがニーズはどうなっているのか、というようなことについてご意見をいただきたいと思っております。それにつながる質問項目については、事務局が専門の研究者と調整のうえ、設問を考え設定し、次回の会議で報告をしていきたいと考えております。</p> <p>また、今回、市として独自に市民全体を対象に子ども・子育てに関するアンケート調査を広報に用紙を折り込む方法で実施することを考えております。従いまして、子どもの保護者以外の、子育てボランティアや子育てを終えた方の意見も聞いてみたい場合は、そちらの質問項目として検討させていただきますので、子どもと子育てに関する幅広いご意見をいただき、それをどのように反映させていけるかわかりませんが、なるべく拾い上げて調査を実施したいと考えております。</p> |
| 委員 J | <p>岩見沢市は待機児童がゼロなのに、待機児童を中心としたニーズ調査は意味がないのではないですか。先ほど提案されたような課題を中心にして待機児童に関する項目は少なくした方がよいのではないですか。</p> |
| 事務局 | <p>待機児童に関する質問は、それほど多くはありません。たとえば、保育所の定員は何人必要なのかというようなニーズを調べるものになっていて、国から必須記載項目と示されていますので、記載しなければいけません。それに加えてどんな項目を増やしていくかということを考えていただければと思</p> |

| | |
|------|--|
| | います。 |
| 委員 J | 対象者は前期・後期のように健全家庭だけでしょうか。 例えば、町内会に入らない、ゴミ捨ては適当、夜中に騒ぐというような家庭や、ネグレクト予備軍にあたるような家庭についてはアンケートを配ることができないと思うので、そこに関わっているような事業所や病院などに調査をした方が良いと思います。 |
| 事務局 | 調査対象については住民基本台帳からの無作為抽出となりますので誰にあたるかはわからないかたちになっています。 |
| 委員 J | ネグレクト予備軍にあたるような家庭は住民登録をしていません。 |
| 事務局 | 意見を吸収しきれないと判断した場合には、何か別の調査で実施できないかということも含めてご意見として参考にさせていただきます。 前回、事業所に対する調査も行っていて、市として実施できないということはないので、ご意見があれば取り組んでいきたいと思っています。 |
| 委員 F | 前回の事業所に対して実施したデータはありますか。 |
| 事務局 | ございます。 |
| 委員 F | 次にニーズ調査にどういった項目が必要かということについて皆さんのご意見を伺いたいと思います。 |
| 委員 C | 病児・病後児保育について、現在、岩見沢市には子どもを預ける所がないということでしたが、札幌市で行っている「緊急サポート」のような事業は実施する予定はないのでしょうか。 |
| 事務局 | 現在のところ、具体的な計画というのはありません。 |
| 委員 C | わたし自身子どもの預け先に一番苦労していて、「緊急サポート」がないとこうして会議に参加することもできないような状況です。未就学児は免疫力が弱いので集団生活をすれば当然病気になりやすく、小学校に上がって急に病気になる頻度が増えてとてもびっくりしています。やはり病気したときに安心して預けられ、かつ仕事にも行けるというのは経済的・精神的な安定に |

| | |
|------|---|
| | つながると思います。 |
| 委員 J | 緊急サポート事業は2年前まで行っていましたが、国の補助がなくなってから岩見沢市では事業がなくなってしまいました。北広島市、札幌市、石狩市など札幌近郊では継続しています。 |
| 委員 C | もし自分が岩見沢市に住んでいたら、不安だとすごく感じました。今、まさにたくさん頼っていますので。 |
| 委員 J | ボランティアでただでもいいからやりたいという人は実はたくさんいるのですが、何かトラブルがあったとき、怪我をしたときなど保険の問題があるため断念した経緯があります。 |
| 委員 C | 緊急サポートに登録するとき何度も面談をして、保険のことについてもたくさん説明があり、そのうえで登録をしました。万が一子どもが病気になったときは朝6時に電話をしてお願いする、ということは何度もしてきたので、緊急サポートのような事業は安心した子育てに直結するのではないかと思います。また、子育てストレスは必ずつきまってくるので、その辺に関する項目があるといいのではと感じました。 |
| 委員 L | 障がい児を預かる際、重い障がいをもつ子どもの場合には保育士がつきつきりになりますので、現実的には予算の問題が壁になってくると思います。すべての項目に対応できればいいのですが、実際には財政面の問題がありますので、ニーズ調査を行っても対応しきれないのではないのでしょうか。 |
| 委員 A | 一般的な子育て家庭に対して、個々の様々な事情を抱える家庭は、様々なきめ細やかな制度を活用しなければなりません。いろいろな要望があるなか実現できるのかというご意見はあるかと思います。しかし、見過ごさずに、万が一のセーフティネットがしっかりあるということを示していくことができたらと考えます。そういったことの調査や制度、今あるお金をどう使えば要望を叶えられるのかということも審議していきたいと思います。 |
| 委員 K | 無作為抽出でニーズ調査を実施するということですが、切羽詰まった状況を想定して答えてくれる人がどれ位いるのかということと、このアンケートに答えるにはある程度のレベルが必要になるのではないかと感じました。障がいを持っている方など様々な状況の方からどれ位回答を得られるのか。ま |

| | |
|-------------|--|
| <p>委員 I</p> | <p>た、児童館についていえば、受け入れ枠の拡大について児童館のニーズをこれから調べることになると思いますが、多くの方が今の制度を基に回答してしまうと思うので、今後のビジョンをある程度示すような項目があればいいと思います。</p> <p>先ほどセーフティネットについてお話がありましたが、身近な地域の中での見守りは虐待や障がいの早期発見につながるという点で大事なことだと思っていて、これに関する項目があればいいと思います。</p> <p>先ほどからご意見を聞いていて、行政で実施している様々な事業に参加できていない方についてどうフォローしていくかというのが大きな問題だと感じました。</p> <p>また、お母さん達が抱える問題や要望について、お母さん自身が主体的に動けるようなシステムを作っていくことでなければ、子ども達に還元されていかないのではないかと感じます。</p> |
| <p>委員 E</p> | <p>仕事中的お母さんは色々なストレスを抱えている方がほとんどなので、子育てに関係するストレスについて聞ける項目があればと思います。また、5年前、10年前の子育ての状況と今の状況は変化していると思うので、どんな子育て支援事業を望んでいるのか、また、市の子育て支援事業についてどれだけ知っていて、どれだけ利用できているのかという部分も調査項目にあるといいと思います。</p> |
| <p>委員 B</p> | <p>子育て支援事業は法律で18歳までを対象にしていますので、未就学児や小学生以外にもっと広い範囲を取り入れてもいいのではないかと思います。レスパイトケアなど気軽に預けられるような施設を望むニーズは間違いなくあり、そういう潜在的なニーズをどうやって掴んでいくかということと、把握するにはより具体的な設問が必要になると思います。市で実施されている事業の全てを項目だけで市民の方が理解するのは難しいと思いますので、事業の内容について具体的に説明するなど丁寧に実施する必要があると思います。</p> |
| <p>委員 H</p> | <p>住民登録をしていない家庭の話がありましたが、「お父さん」がこのようなアンケートがあることを知る機会が少ないのではないかと感じます。事業所などにアンケートが届くと、世のお父さんたちのニーズを把握したり、調査について知る機会が得られるのではないかと感じます。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>委員 D</p> | <p>広報を見ていないお母さん達は多く、町内会に入っていないければ広報を見ないので、子育て情報や支援情報を見れる場があればいいと思います。例えば、美容室、スーパー、温泉、歯医者、病院などお母さん達が立ち寄りそうな所に子育て情報掲示板のようなものを作って誰でも情報を知ることができたらと思います。</p> <p>児童館についてですが、子どもが高学年になっても心配なお母さんはいます。特に冬場はストーブを使うため火事を心配して仕事を辞めるお母さんもいますので、もう少し学年を3年生から拡大できないのかと感じます。</p> <p>岩見沢市には病床保育がないことで子どもが病気の時に頼るところがない方や仲間がいない方もたくさんいます。親にも友達にも頼る人がいないと育児本にばかり頼ってしまい、本のおりにいかないと自分の子どもはおかしいのではないかとイライラし、それがストレスにつながってしまいます。子育ての悩みを話し合える場や、聞いてもらえる場が必要で、免許はなくてもおじいちゃんおばあちゃん保育士のようなものがあるといいと思います。</p> <p>また、以前住んでいた江別市と比べると岩見沢市は子どもの遊ぶ場所がすごく少ないと感じます。特に冬場は雪が多いので、であえーるの広場を使おうと思っても小さい子が対象なので、小学生でも大きい子には利用できません。バラ園や郷土科学館などもあります子どもが十分に遊べる施設ではないので、結局市外の施設に行くことになり、運転できない人は尚、行くところがないという状況です。友達がいないお母さんは、冬場はかなりストレスを抱えてしまい、子どもにイライラをぶつけてしまうのではないかと思います。</p> |
| <p>委員 F</p> | <p>市の事業ではなく地域で自主的にやっている支援が継続して実施していけるように、新しいことをやるよりも市民の中で行われていることに力を注ぐことが岩見沢市の課題の一つではないかと思います。また、子育てはどんな人にとっても避けて通れない当たり前に生じる人生の危機であり、そういうレベルでの一般的な子育て支援の問題と、確実に増えている虐待や貧困家庭などセーフティネットに引っかからないような家庭への支援をどうしていくかという両方の点について見通しを立てていく必要があります。ある日困った時に探したら何か支援がある、というのが大事だと思います。少子化対策は効果がないことはもう明らかで、今度は、少ない子ども達をどう質よく育てていくのかという方向に移行しようとしており、岩見沢市で子育てしたいという人を他の所から引っ張ってこれる位のことをやっていかなければ、次世代の子どもは増えてこないわけです。これからは子どもの取り合いの時代になってきます。そこで、岩見沢市は何を目玉にしてやっていくのかという</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>のを、ニーズ調査を経て決めていくことになると思います。今、市の支援を受けていないけれど子育てに対して熱心にサポートしている岩見沢の人材や組織を掘り出していくようなニーズの調査もあってもいいのではないかなと思います。</p> |
| 委員 J | <p>健全家庭以外のニーズを調べる手段としては、ツイッターやフェイスブックだと思います。住民登録していなくてもほとんどの人はスマホを持っていてツイッターはできます。市からの発信はフェイスブック、市民の聞き取りはツイッターでやっていただけるといいかと思います。</p> |
| 委員 F | <p>それでは今日の会議はここまでで、今回の会議で出た様々なご意見については今後まとめて反映していただけるということによろしいでしょうか</p> |
| 事務局 | <p>はい。</p> |
| 委員 F | <p>ニーズ調査の項目について、今回の意見がどのように反映されたかは次回の会議で報告していただけるということでございます。</p> |
| 事務局 | <p>6 その他</p> <p>①専門部会の設置 委員の選出</p> <p>②今後の会議のスケジュールについて</p> <p>③意見シートについて</p> <p>④会議録の公開について 特定の個人や団体等に利害が生じる可能性があるため、自由な議論を妨げることのないよう原則非公開で会議録を公開することを承認される。</p> |
| 閉会 | <p>20時6分</p> |